

# 豊浦町幼小中一貫だより

## 回覧

平成24年3月9日〔金〕第5号

発行者：豊浦町幼小中一貫教育研究会 地域連携部会

### 今年度の反省と次年度に向けて ~より充実した幼小中一貫教育を推進するために~

豊浦町幼小中一貫教育研究会の三役会及び運営委員会を過日開催し、豊浦町幼小中一貫教育研究大会〔11/11〕及び今年度一年間の活動について、各学校より出された意見をもとに協議・検討し、次年度の方向性を確認しました。この方向性を全員で確認しあい修正等を加えながら「実効ある一貫教育」を推進していくこととなります。

#### 1. 研究大会について

##### ○研究大会の準備・運営について

①前日までの準備については、豊小中を中心に全体で準備作業が進められ組織体制の一体感を感じた。事務局から細かく提示されていたので動きやすかった。

②当日の運営は、きめ細かな計画が立てられ、また開閉会式・全体会についてはリハーサルも行われたので、全体的にスムーズに運営されていた。

##### ○一次公開について、

①中学校数学の先生がTTに入るなどの授業は、学年とT1、T2の役割や指導方法を検討し継続したい。

②ジョイント教室、算数と幅広く準備は大変だが、それぞれの授業はしっかりとしたねらいや、これまでの取組が見えるものでよかったと思う。今後は、つくりあげる過程を公開できるようにしたい。

##### ○二次公開

①パート練習では小中の交流が図られていて、中学生は小学生の良いお手本となったので良かった。また、小中ジョイントは少ない回数を取り組みだったが、小学生は中学生の力強さについていけた。中学生もまたリーダーとしての姿を発揮できていた。目に見える学力以上のものがジョイントにはあったため、今後も継続したい取組である。

#### 2. 今後の一貫教育研究会の取組について

①各ワーキンググループの反省も受けて、「どんな組み合わせ・何の教科」でジョイントを進めるのかを検討していく〔町教研の組織再編の方向性と連動することになる〕

②年間を見通したジョイント実施計画〔交流学习の利用も含め〕を平成23年度中に見通しを持たせたい。

③小学校の図画工作へ、中学校の先生が乗り入れることも考えられる。

④4月下旬、5月の連休明け時期に、小学校担任・フリーが中1の授業参観を行う。

⑤外国語の授業に中学校の先生を乗り入れすることも考えられる。

⑥中学校の先生に、小学校の授業を見てもらう週間を設定していく。

⑦会議やその他の打ち合わせ時間について計画性を持つ必要がある。



⑧今後も保護者や地域に対し取組のPRを継続する。





## 豊浦町PTA連合会研究大会において「幼小中一貫教育の研究内容」を説明

平成23年度、豊浦町PTA連合会研究大会が10月29日〔土〕豊浦中学校を会場に開催され、開会式に先立ち「豊浦町幼小中一貫教育研究会の研究内容等」について保護者や地域の皆さまに説明させていただきました。説明しました内容を一部掲載しお知らせします。

- ①私たち大人そして教職員は、子どもたちが精神的にも身体的にも、悩みやストレスを感じずに学校生活を過ごし、将来に向かって希望や夢を持ち、その希望や夢を実現できるような環境を作っていくことが大事なことであり使命であると考えます。豊浦町教育委員会も「豊浦町の子どもたちに、のびのびと楽しい学校生活を過ごさせたい」とする考えのもと、教育行政執行方針の一つに「実効ある幼小中一貫教育を推進する」としています。
- ②教育委員会の行政執行方針の下、私たち町内の全教職員は「子どもたちの健やかな成長のために」を合言葉に、研究主題「子どもたちの健全な望ましい発達を促す幼小中の滑らかな連携の在り方」を設定し幼小中一貫教育の研究を進めています。
- ③町内の先生方が全員で研究・実践をし、成果を積み上げていくことにより町民の皆さまに理解され協力が得られるものと思いますし、その理解と協力が得られた時にこそ町全体で「町民みんなで子どもを見守っていく、育てていく」という環境が今よりも一層できていくと考え研究に取り組んでいます。
- ④組織については、先生方一人一人が責任を持って「自ら取り組んでいる」という充実感が感じられる組織づくり ～実効ある組織～ に着手し、研究を推進しています。
- ⑤これまでの実践例については、スライドにて紹介しました。〔幼稚園年長児の小学2年生の授業参観や豊浦小・大岸小・礼文華小・大和小の児童の交流学习等を紹介〕

## 八潮市研究大会視察研修

本町は幼小中一貫教育を推進していることから全国的にも小中一貫教育の先進地、埼玉県八潮市の研究大会に、田中教育長、宮崎学校教育係主事、豊浦小学校・太田教諭、豊浦中学校・砂金教頭の4名が参加をしました。八潮市は平成18年度に「八潮市小中一貫教育特区」の指定を受け、「英語活動」「えらべる科」「ふるさと科」を設け、国語・算数・数学の基礎基本やふるさと八潮について学習しています。

これまでは全市の中学校ブロック〔5ブロック〕において、小中一貫教育を推進していましたが、今年度より大原中ブロックと八幡中ブロックで公開研究会を実施し、来年度からは「八潮市小中一貫教育推進の日」を設定し、全ブロックで公開研究会を行う予定とのことです。

研究大会は昨年11月18日に行われ、八潮市立大原小学校・大原中学校の公開授業〔算数、英語他〕、全体会に参加。多くの示唆を受ける有意義な視察でした。参加した教師の一人は、「今回の視察研修での成果を今後の本町の一貫教育に活かしていきたい」と話していました。



◎豊浦町幼小中一貫教育研究会は、これからも一貫教育〔12年間の学びの連続性〕を通して次の力を育てていきます。

- ①確かな学力と学習習慣を育成するための取組を推進していきます。
- ②豊かな心を醸成するための取組を推進していきます。
- ③体力・運動能力を培うための取組を推進していきます。